

# 事業評価シート（平成27年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	高等学校等修学支援事業		
事業担当	学校教育部 教育総務課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'05	5 基礎的な学力を身につけ、個性を伸ばす教育を充実する	
根拠法令等	平塚市教育委員会高等学校等修学支援金規則		
対象・受益者	高等学校等に通学する生徒	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
勉学に意欲的で経済的な支援が必要な者が、高等学校等において修学する機会を得ています。		高等学校等における修学支援を行うため、修学支援金を支給します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	修学支援金支給人数			単位	人
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	160	140	120		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績					
成果指標①	指標名	修学支援生卒業率			単位	%
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	100	100	97.4		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
<p>神奈川県が、当該事業と同じ目的で開始した高校生等奨学給付金制度との併給を認めたことから予算の執行率は低下しましたが、修学支援金の支給により、勉学に意欲的で経済的に支援が必要な生徒に修学機会を与えることができました。</p>						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	経済的理由により高等学校等に修学することが困難な者に対して、修学の機会を与えることは必要です。申請件数は多く市民ニーズは高いと考えられます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	勉学に意欲的な高校生等が経済的理由で修学機会を得られなくなることはないよう事業を継続して行なう必要があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	神奈川県高校生等奨学給付金については併用可能とし、給付対象となる生徒の修学支援金額を減額することとしました。また、事業目的を踏まえ学業成績の基準を見直しており、妥当と考えます。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	返還義務のない奨学金の充実が求められています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 引き続き国や県が実施する高校生等への奨学事業に注視し、本事業を展開していく必要があります。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		修学支援金の支給	修学支援金の支給、修学支援事業内容の見直し	修学支援金の支給
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	13,440	11,753	8,436
事業費 (A)		13,440	11,753	8,436
執行率 (%)		100.00	99.94	88.62

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成29年度の取組方針</b> 平塚市教育委員会高等学校等修学支援金規則に則り事業を継続して実施するとともに、今後の国や県の政策等を踏まえ事業のあり方や予算の有効な活用方法について検討を進めます。
<b>課長コメント</b> 高等学校等での修学を継続するためには授業料以外の支援も必要であることから、事業の継続が必要と考えます。